

2019年9月21日 ~ 2019年9月27日

2019年10月1日

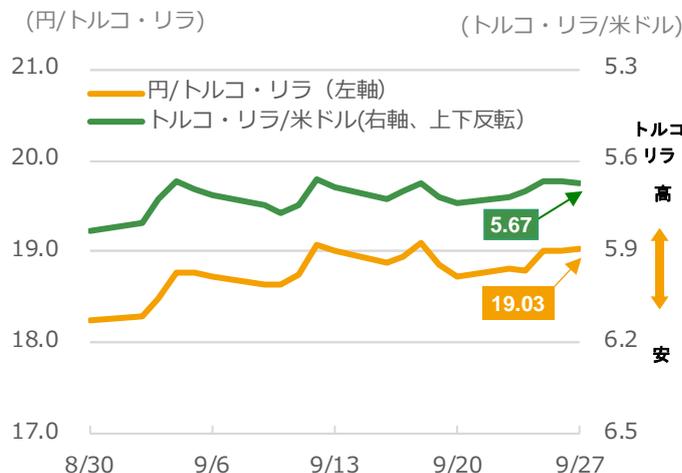
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、トルコ国内の材料が乏しい中、国連総会に出席していたエルドアン大統領とトランプ米大統領の会談は実施されなかったものの、市場への影響は見られませんでした。トランプ米大統領の弾劾調査への懸念は限定なものとなり、リスク選好的な環境が継続する中、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。国債金利は低下しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年8月30日~2019年9月27日)



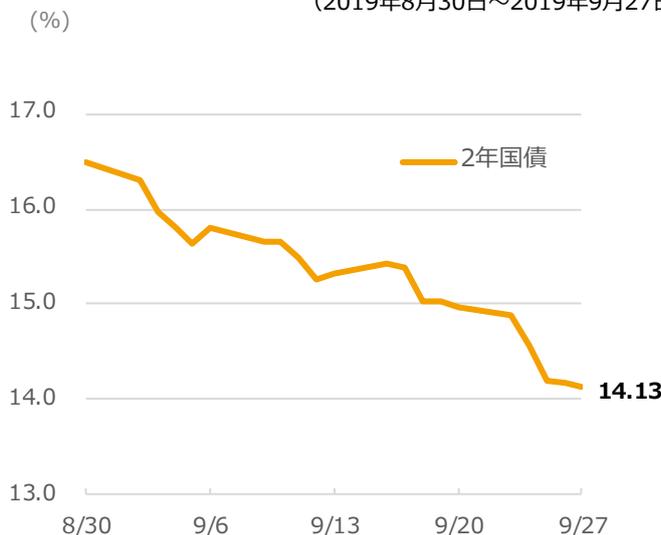
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

今週の見通し

今週は、9月のCPI（消費者物価指数）が発表される予定です。市場では8月の前年比15.0%から同9.7%へ大幅に鈍化すると予想されており、今後の金融政策を予想する意味で注目されます。外部要因では、中国が建国70周年の祝賀ムードで長期休暇に入っているため米中貿易摩擦に関してネガティブな報道が出にくい環境になると考えられることから、今週のトルコ・リラも底堅い展開が続きやすいと予想しています。

トルコ 金利推移

(2019年8月30日~2019年9月27日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。